

施策	2203 住環境の維持・向上						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	市営住宅リフレッシュ事業の推進、市営住宅の維持・保全、市道の整備推進、市道の維持・管理等を図る。						
成果指標	市営住宅の長寿命化修繕率...5年間（平成25年度～29年度）で70%（現状値39.1%） 市道の舗装率...5年間（平成25年度～29年度）で80.2%（現状値77.6%） 市道の改良率...5年間（平成25年度～29年度）で63.2%（現状値61.8%）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [ % ]	予定	43.00	55.00	61.25	66.25	70.00
		実績	43.00	51.25	57.50	66.25	70.00
	成果指標2 [ % ]	予定	78.30	78.80	79.40	79.70	80.20
		実績	78.60	78.60	79.30	79.40	79.80
		単位コスト	13,762.32	11,908.12	11,681.15	10,760.19	13,525.91
	成果指標3 [ % ]	予定	62.10	62.40	62.80	63.00	63.20
		実績	62.70	62.70	62.70	63.10	63.10
		単位コスト	17,252.28	14,927.88	14,773.76	13,539.76	17,105.67
	成果指標4 [ ]	予定					
実績							
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	1,154,639	1,068,015	998,005	889,286	1,189,348	
	実績	1,081,718	935,978	926,315	854,359	1,079,368	
内 部 評 価	貢献度	上位施策「生活環境の充実」を目標値に向上させるためには、市営住宅の長寿命化修繕及び市道の舗装・改良が重要であり本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	実施計画に基づいた計画的な進捗管理により、実施した事業の達成率は高く、概ね良好といえる。					
	課題	住環境の維持向上にあたっては、市営住宅及び市道の維持補修のみならず、地域の住環境整備を一体的に行う必要があるが、現状は各住宅・各路線別の対応に留まっている。					
	取組方針	市営住宅・市道における要補修箇所の情報収集に努め、地域性・緊急性を視野に入れた計画変更を含めつつ目標値に向けて実施していくことが必要である。					
外 部 評 価	<p>市営住宅の維持・保全については、目標通り事業が遂行されており、順調と評価する。今後においても、計画的に事業を進め、市営住宅にお住まいの方々の住環境の維持・向上に努められたい。</p> <p>生活道路の整備推進、維持・管理については、市道の舗装率、改良率ともに目標を下回ってはいるが、昨年度に実施した事業の達成度は高く、概ね良好と判断する。今後においても、計画的に事業を進め、市民が安心・安全に生活できる住環境の維持・向上に寄与されたい。</p> <p>なお、市道における要修繕箇所の情報収集に努めるとあるが、一般の市民が緊急的な補修を願いたくとも、連絡方法なども認知されていないことから、周知が必要なのではないかと思われる。また、携帯アプリによる通報システムなども一考願いたい。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	402101	市道各号線道路改良事業費				24,232	100
	402301	市道13249(C268)号線道路改良事業費(栃木川原田町)				5,668	100
	404101	市道43402(C13)号線道路改良事業費(栃木大宮町)				8,968	100
	413101	市道13349(C386)号線道路改良事業費(栃木川原田町)				2,841	100
	413803	市道2126・31044(F21・1-120)号線道路改良事				1,794	100
	413903	市道31091(F1-98)号線道路改良事業費(藤岡大田和西				13,687	100
	414101	市道維持管理費				156,361	100
	414201	市道各号線道路維持補修事業費				6,414	100
	414501	道普請事業費				6,359	100
414701	市道各号線橋りょう維持補修事業費				5,291	100	

施策	2203 住環境の維持・向上			
	事業コード	名 称	トータルコスト(千円)	達成度
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	450101	改良住宅管理費	1,704	100
	450201	市営住宅リフレッシュ事業費	58,232	100
	450301	市営住宅共通管理費	117,713	100
	451701	県営住宅敷地賃借費	17,360	100
	452601	住生活基本計画等策定委託事業費	12,423	100
	490802	市道23037(016)号線道路改良事業費(大平西山田)	5,804	100
	492304	市道43386(T-247)号線道路改良事業費(都賀合戦場)	16,731	100
	492404	市道43287(T-208)号線道路改良事業費(都賀家中)	13,157	100
	492504	市道43253(T-442)号線外道路改良事業費(都賀家中)	42,681	100
	492604	市道43062(T-402)号線外道路改良事業費(都賀家中)	53,740	100
	493705	市道51023(N3303)号線道路改良事業費(西方真名子)	19,206	100
	494601	市道14239(D23)号線道路改良事業費(栃木皆川城内町)	18,360	100
	494905	市道52026(N3159)号線側溝整備事業費(西方金崎)	22,543	100
	495405	市道52103(N3113)号線道路改良事業費(西方元)	4,750	100
	495505	市道N-3137号線道路改良事業費(西方金崎)	3,145	100
	652801	建築課一般経常事務費	4,900	100
	705802	市道22024(078)号線道路改良事業費(大平下高島)	4,878	100
	708101	舗装修繕事業費	12,516	100
	708603	北坪地区流末排水整備事業費	3,741	100
	709306	市道62102(I192)号線道路改良事業費(岩舟静)	11,479	100
	709806	市道62219(I299)号線道路改良事業費(岩舟静戸)	13,381	100
	710906	市道61268・61262・61251(I94・134・13	8,025	100
	712306	市道2099(I388)号線道路改良事業費(岩舟静)	12,151	100
	717602	市道22268(0430)号線(堀ノ内橋)橋りょう整備事業費	8,421	100
	718401	道路付属物点検事業費	10,405	100
	718601	市営住宅耐震診断事業費	5,010	100
	722601	空き家対策事業費	38,794	100
	727501	住宅被災者支援事業費(平成27年9月豪雨災害)	835	100
	739201	片柳市営住宅解体事業費	61,333	100
	739601	道路河川維持課一般経常事務費	4,944	100
	749001	生活道路舗装補修事業費	203,870	100
	749101	市道維持補修用自動車購入費	5,437	100
	751401	土木管理課専用自動車購入事業費	1,979	100
	753801	市道61095(I53)号線道路改良事業費(岩舟三谷)	20,132	100
	705702	市道21046(070)号線道路改良事業費(大平北武井)	2,200	1
	739501	土木管理課一般経常事務費	1,895	1
	745701	土木施設管理事業費	1,378	1
	402104	市道各号線道路改良事業費(都賀)	0	0
	402105	市道各号線道路改良事業費(西方)	0	0
	402201	市道B282号線道路改良事業費(栃木惣社町)		0
	403501	市道239号線道路改良事業費(栃木千塚町)	0	0
	404901	市道D197号線(牛落橋)橋りょう整備事業費(栃木星野町)	0	0
	407803	市道F3-258・259号線道路改良事業費(藤岡志辺)		0
	410202	市道O-29号線道路整備事業費(大平蔵井)		0
	410402	市道O-579・580号線道路改良事業費(大平新)		0
	413703	市道31131・31128(F2-35・38)号線道路改良事		0
414003	市道2142(F33)号線道路改良事業費(藤岡大前向)		0	
490103	市道31211(F2-90)号線道路改良事業費(藤岡大前本郷)		0	
490203	市道31206・31170・31217(F2-52・54・5	0	0	
492804	市道1014(T2)号線道路改良事業費(都賀家中)	0	0	
493405	市道2002(N2021)号線道路改良事業費(西方真名子)	0	0	
493505	市道53104(N3228)号線道路改良事業費(西方金井)	0	0	



# コスト分析表

年 度 平成29年度

所 属 30200000

施 策 2203

都市整備部 住宅課

住環境の維持・向上

期 間 平成25年度 ~ 平成29年度

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)					
		都道府県支出金	(2)			0	0	
		地方債	(3)					
		その他	(4)					
		一般財源	(5)					
	直接費	事業費	(6)	1,154,639	1,068,015	998,005	889,286	1,189,348
		うち人件費	(7)					
		人件費以外(6)-(7)	(8)	1,154,639	1,068,015	998,005	889,286	1,189,348
	人件費	人件費	(9)					
		(正職員数:賦課)	(10)					
		(正職員数:配賦)	(11)					0.05
		職員数合計(10)+(11)	(12)					0.05
	調整額	間接費	(13)					
		(加算)減価償却費	(14)					
		(加算)金利	(15)					0
		(加算)退職給与引当	(16)					0
		(控除)コスト対象外	(17)					0
		(控除)雑収入	(18)					0
	調整額計 (14)+(15)+(16)-(17)-(18)	(19)					0	
	トータルコスト (8)+(9)+(13)+(19)	(20)	1,154,639	1,068,015	998,005	889,286	1,189,348	
実 績	財源内訳	国庫支出金	(21)				74,162	
		都道府県支出金	(22)				0	
		地方債	(23)				444,100	
		その他	(24)				199,507	
		一般財源	(25)				274,099	
	直接費	事業費	(26)	1,081,718	935,978	926,315	854,359	991,868
		うち人件費	(27)		0			0
		人件費以外(26)-(27)	(28)	1,081,718	935,978	926,315	854,359	991,868
	人件費	人件費	(29)					87,500
		(正職員数:賦課)	(30)					9.20
		(正職員数:配賦)	(31)					0.05
		職員数合計(30)+(31)	(32)					9.25
	調整額	間接費	(33)					0
		(加算)減価償却費	(34)				0	0
		(加算)金利	(35)				0	0
		(加算)退職給与引当	(36)				0	0
		(控除)コスト対象外	(37)				0	0
		(控除)雑収入	(38)				0	0
	調整額計 (34)+(35)+(36)-(37)-(38)	(39)				0	0	
	トータルコスト (28)+(29)+(33)+(39)	(40)	1,081,718	935,978	926,315	854,359	1,079,368	

## 平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	2203 住環境の維持・向上		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	維持管理費等経費縮減可能と思われる事業もある。
	受益者負担	適正	交付金等の負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	単位施策の目標達成度による貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	低所得者や住宅確保要配慮者へ住みよい住環境提供を図ることができる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	上位施策「生活環境の充実」を目標値に向上させるためには、市営住宅の長寿命化修繕及び市道の舗装・改良が重要であり、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。	
	達成状況	実施計画に基づいた計画的な進捗管理により、実施した事業の達成率は高く、概ね良好といえる。	
	課題	住環境の維持向上にあたっては、市営住宅及び市道の維持補修のみならず、地域の住環境整備を一体的に行う必要があるが、現状は各住宅・各路線別の対応にとどまっている。	
	取組方針	市営住宅・市道における要補修箇所の情報収集に努め、地域性・緊急性を視野に入れた計画変更を含めつつ目標値に向けて実施していくことが必要である。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	事業期間内における各事務事業の成果が、基本施策「生活環境の充実」に大きく貢献しており、今後とも住環境の維持・向上を図る上で重要な事業である。	
	達成状況	計画的な事業の実施により、計画期間内において、数値目標を概ね達成できた。	
	課題	市営住宅においては老朽化が進んでいる。市道においても、緊急性を優先しつつ、計画的に維持補修・整備する必要がある。	
	取組方針	市営住宅においては、計画的な修繕を実施するとともに、交付金の活用により一般財源の歳出縮減に努める。また、市道の整備・改良については、補償費削減等を意識した計画の検討をするとともに、再生資源の活用により建設コストの削減に努める。	